【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公開番号】特開2010-98776(P2010-98776A)
【公開日】平成22年4月30日(2010.4.30)
【年通号数】公開・登録公報2010-017
【出願番号】特願2008-264746(P2008-264746)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｂ　1/30　(2006.01)
Ｈ０１Ｈ　33/48　(2006.01)
Ｈ０１Ｈ　33/52　(2006.01)
Ｈ０１Ｈ　31/06　(2006.01)
Ｈ０１Ｈ　31/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｂ　1/08　Ｆ
Ｈ０１Ｈ　33/48
Ｈ０１Ｈ　33/52　Ｂ
Ｈ０１Ｈ　31/06
Ｈ０１Ｈ　31/10

【手続補正書】
【提出日】平成24年1月12日(2012.1.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
投入・遮断器能を有する遮断器，手動断路器、及び手動接地開閉器を備えたスイッチギヤにおいて、
前記スイッチギヤの前面に前記遮断器、前記手動断路器、或いは前記手動接地開閉器を操作するために遮断，断路，接地を選択して切替可能な選択機構を備え、該選択機構と、前記手動断路器及び前記手動接地開閉器の操作ハンドル挿入孔に各々設けたシャッタとを機械的に係合させ、前記選択機構にて断路或いは接地を選択した場合に、前記各々のシャッタが開放できることを特徴とするスイッチギヤ。
【請求項２】
請求項１に記載のスイッチギヤにおいて、
前記選択機構は遮断・断路・接地操作間のインターロック機能を有することを特徴とするスイッチギヤ。
【請求項３】
請求項１又は２に記載のスイッチギヤにおいて、
前記手動接地開閉器が投入状態のとき、前記選択機構と前記手動接地開閉器のリンク機構が干渉し、前記選択機構が操作できないことを特徴とするスイッチギヤ。
【請求項４】
請求項１又は２に記載のスイッチギヤにおいて、
前記選択機構が遮断を選択している状態では、前記手動断路器を開放しない限り、前記選択機構が接地を選択できないことを特徴とするスイッチギヤ。
【請求項５】

請求項１又は２に記載のスイッチギヤにおいて、
前記選択機構が接地を選択している状態では、前記手動断路器を投入しない限り、前記選択機構が遮断を選択できないことを特徴とするスイッチギヤ。
【請求項６】
請求項１ないし５のいずれか一つに記載のスイッチギヤにおいて、
前記選択機構が遮断を選択しているときに限り、前記遮断器の投入指令を受け付けることを特徴とするスイッチギヤ。
【請求項７】
請求項６に記載のスイッチギヤにおいて、
前記選択機構にて遮断を選択したときにＯＮするスイッチを備え、該スイッチを介して前記遮断器に投入指令を与えることを特徴とするスイッチギヤ。
【請求項８】
請求項１ないし７のいずれか一つに記載のスイッチギヤにおいて、
前記遮断器が投入状態のとき、前記選択機構と前記遮断器のリンク機構が干渉し、前記選択機構が操作できないことを特徴とするスイッチギヤ。
【請求項９】
請求項１ないし８のいずれか一つに記載のスイッチギヤにおいて、
前記手動断路器及び／又は前記手動接地開閉器の操作ハンドル挿入孔に設けた前記シャッタが開放した場合、前記選択機構と前記シャッタとが干渉し、前記選択機構が操作できないことを特徴とするスイッチギヤ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明のスイッチギヤは、上記目的を達成するために、投入・遮断器能を有する遮断器，手動断路器、及び手動接地開閉器を備えたスイッチギヤにおいて、前記スイッチギヤの前面に前記遮断器、前記手動断路器、或いは前記手動接地開閉器を操作するために遮断，断路，接地を選択して切替可能な選択機構を備え、該選択機構と、前記手動断路器及び前記手動接地開閉器の操作ハンドル挿入孔に各々設けたシャッタとを機械的に係合させ、前記選択機構にて断路或いは接地を選択した場合に、前記各々のシャッタが開放できることを特徴とする。